

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	建設部
	08078-1	施設整備費(交通安全施設費)	室名	維持修繕室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	06:地域安全の充実	務	款 土木費
施策体系	施策の方向	02:交通安全の確保	科	項 道路橋梁費
	戦略プロジェクト		目	目 交通安全施設費

② 目的・概要	対象	市民
	目的・概要	道路における交通環境の改善を行うとともに、交通事故の防止を図り、あわせて交通の円滑化に資することを目的とする。 また、各自治会からの要望のほか、児童の通学路での登下校中における交通事故が多発しているため、市内全ての小学校の通学路を対象に教育委員会と公安委員会(亀山警察署)が連携して、緊急合同点検を実施し、その点検結果による対策必要箇所について対応している。

			24年度	25年度	26年度		
③ 指標	活動	① 名称	改善箇所数	計画値			
		補足	要望箇所のうち改善が図れた箇所数	実績値	248	168	158
				単位	箇所	箇所	箇所
	成果	① 名称		計画値			
		補足		実績値			
				単位			

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					*カーブミラー設置 *ガードレール設置 *転落防止柵設置 *区画線設置(外側線) *区画線設置(文字) *標識設置 *照明灯設置			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	3,109	平均給与額×③
		事業費		24,437	24,437	一般職員人件費 ②	3,109	
		国庫支出金				所要人員 ③	0.42	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		24,437	24,437			
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
	総人件費		①	3,109				
	総コスト		⑥	27,546				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	交通事故防止と歩行者の安全確保のための対策として、近年、ガードレール設置、カーブミラー設置、区画線設置しながら安心路肩整備など実施している。要望箇所の一部ではあるが、交通事故防止にもつながり歩行者等の危険度は軽減されていると考える。また、児童の安全確保の観点にたち、教育委員会、公安委員会(亀山警察署)と連携し、緊急合同点検も実施している事で、それぞれの安全対策事項が把握でき共通認識が保たれている。	総合判定
			A
			順調に進んだ
	【反省点・課題】	財政的な問題もあり、危険性、緊急性の高い箇所から順次工事を進めてきたが、未対策箇所も多数残っており、それらについては今後も引き続き改善に努め取り組んでいく。また、公安委員会が対策して頂いている信号機設置のように実施にいたるまでに年数を要する案件については、市として出来る範囲で暫定的な処置を講じていく必要がある。	
	【改善の方向性】	固定概念にとらわれず、費用対効果のある対策を検討し、地元自治会、教育委員会、公安委員会(亀山警察署)と連絡調整を図りながら、安心・安全なまちづくりに努めることにより、確実に事業実施を図っていく。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 維持修繕室長 松尾 敏